

当院でこれまでに腫瘍の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データ／病理標本の調査研究への使用のお願い】

鳥取大学医学部附属病院病理部では「種々の腫瘍における疾患特異的遺伝子異常検出の診断的有用性の検討」という調査研究を行う予定です。この研究は、種々の腫瘍症例の疾患特異的遺伝子異常の検出を行い、遺伝子検索の感度・特異度および陽性・陰性的中率を調べることを主な目的としています。そのため、当院で過去に腫瘍の診断・治療を受けた患者様のカルテ等の治療データ／病理標本を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、平成16年4月1日から令和6年10月31日までに軟部腫瘍の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、病理標本が対象です。
- 過去のデータ／病理標本を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、鳥取大学医学部附属病院の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- この調査研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会で審査され、医学部長の承認を受けて行われます。研究期間：平成28年8月～令和7年3月

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、令和7年3月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

鳥取大学 医学部 病理学講座

桑本聡史

TEL：0859-38-6063 FAX：0859-38-6060

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしく願いいたします。

掲示場所：1階 外来総合受付 病院HP